

普及活動情勢報告（令和6年9月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

次作に向けて、夏の勉強会！ ～十市・南部シシトウ部会勉強会～



栽培講習会の様子

8月21日、J A高知県土長地区十市出張所で、十市・南部シシトウ部会の勉強会が開催され、生産者9名が参加しました。

会では、農薬の適正使用やGAPチェックシート、これからのシーズンに注意が必要な台風対策などについてJ A営農指導員から情報提供がありました。

農業改良普及課は、非辛みシシトウの管内での評価や試験結果を報告し、生産者から「次作は樹が暴れないように寝かせ作業を意識する。今後も非辛みシシトウを栽培していく」といった前向きな意見が聞かれました。

今後も、非辛みシシトウの安定生産に向けて関係機関と連携し、栽培技術の確立に取り組めます。

農業基礎講座を開催しました



農業基礎講座の様子

8月27日、9月3日及び9月10日に中央東農業振興センターにて農業基礎講座を開催し、新規就農者など延べ19名が参加しました。農業改良普及課が講師となって、電子帳簿保存法の改正の留意点、定額減税、複式簿記の原理及び経営の見直し方、収入保険・各種共済制度、土づくりの重要性及び農薬の安全使用について講習しました。

参加者からは「なぜ複式簿記を記帳しなければならないのか理解できた」、「農薬の情報について知りたかったので、大変助かった」といった意見がありました。

農業改良普及課では、引き続き新規就農者の経営安定を支援していきます。

ハウスの温度を確認しましょう！



温湿度計を設置！

8月28日、農業改良普及課は8月中旬から定植がはじまったトルコギキョウのハウス4ほ場に温湿度測定装置を設置しました。

管内では、定植初期の高温や、冬期のブラスチングの発生による品質低下が問題となっています。そこで、ハウス内環境を簡単な操作で確認できる温湿度測定装置を設置し、栽培期間中のハウス内環境を確認することで課題解決につなげようと取り組みを始めました。

生産者からは、「今まで温度をあまり気にしていなかったので、これを機会に確認してみたい」と前向きな意見が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、収集した環境データを活用した取組を行います。

令和7園芸年度のトマト栽培が始まりました！ ～フルーツトマト現地検討会～



現地検討会の様子

9月3日、香美地区園芸部フルーツトマト部会で令和7園芸年度の現地検討会が開催され、生産者10名が参加しました。当部会では、2週間に一回現地検討会を開催し、全会員のハウスを回り、意見交換を行います。

気温が高い日が続いたものの、生育は例年並みの状況でした。会の中では、今後も高温が想定されるため、灌水管理や追肥のタイミング、交配用のハチの導入時期などについて活発な意見交換がされました。農業改良普及課はJ Aと連携し、初期管理の指導を行いました。

農業改良普及課は今後もJ Aと連携しながら、生産者の栽培技術向上を支援していきます。

令和6園芸年度を振り返ろう ～J A高知県香美地区園芸部大葉部会総会・反省会～



説明する普及指導員

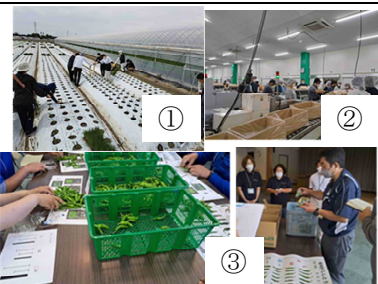
9月10日、J A高知県香美地区香北支所にて、J A高知県香美地区園芸部大葉部会が令和6園芸年度総会及び反省会を開催し、生産者6名と関係機関が参加しました。

J Aからは、令和6園芸年度の販売実績等について説明があり、農業改良普及課からは、今後の栽培管理と天敵実証試験の状況について情報提供しました。

参加者からは「昨年の12月や2月は日照時間が短かったため、花芽が多かった。電照の時間を見直す必要があるそう」「白斑症状の原因究明をして欲しい」といった意見が出されました。

農業改良普及課は今後も関係機関と連携し、大葉の生産安定に向けて支援します。

農福連携促進を協議 ～「畝の会」～



畝の会の活動

- ①ニラ定植体験
- ②ニラ包装ラインでの体験
- ③シトウパック詰め体験

「畝の会」は香美市での農福連携促進を目的に農業・福祉の関係機関や事業所等をメンバーとして令和5年10月に発足しました。これまで4月のニラ定植や7月のシトウパック詰めなどの体験会を開催し、マッチング支援を行ってきました。

9月11日に20名が参加し今年度2回目の協議会を行い、これまでの活動の振り返りと今後の活動について協議しました。これまで体験会や打ち合わせを行ってきた事業所等でのシトウのパック詰めが10月中旬から本格的に始まる予定です。また、発達障害者の特性理解に関する研修会、就労体験や作業体験会を実施することが決まりました。

農業改良普及課では、各関係機関と連携しマッチング支援を行っていきます。